

1. 大会名 平成29年度冬季デジタルスポーツ・シューティング大会兼全国競技大会
2. 主催 公益社団法人 日本ライフル射撃協会
3. 主管 関係都道府県ライフル射撃協会ほか
(日本ライフル射撃協会が競技開催案内、記録集計・発表、表彰を担当)
4. 期 日 平成30年2月5日(月)～18日(日)の間で、主管者が設定する曜日
(開催日、時間等は、日本ライフル射撃協会のWEBサイトで事前に公開します。)
5. 会 場 (1)日本ライフル協会は、会場施設の準備状況等を勘案して、開催することが可能な会場を決定し、大会1ヶ月前までに開催会場を含む要項をWEBサイトで公開する。
※H28の開催会場
北海道・秋田・東京・岐阜・京都・大阪・愛媛・山口・大分ほか

6. 競技日程・種目

日程	競技種目	競技時間
2月5日(月)	10mビーム・ピストル(デジタル) 立射男子40発	開催される種目、開催時間等は会場ごとに設定されます。詳細は、WEBサイトで公開されます。
～	10mビーム・ピストル(デジタル) 立射女子40発	
2月18日(日)	10mビーム・ピストル(デジタル) フリーポジション20発	

7. 競技方法 (1) ISSF競技種目
10mビーム・ピストル(デジタル) 立射男子40発【整数表示】
10mビーム・ピストル(デジタル) 立射女子40発【整数表示】
なお、ISSF競技種目の参加選手は、第1、第2シリーズ【小数点表示】得点を持って、普及競技の20発競技に参加したものとすることができる。
- (2) 普及競技種目(全国競技会種目)
10mビーム・ピストル(デジタル)フリーポジション20発(男女混合)【小数点表示】
(参考) 10mビーム・ピストル(デジタル)フリーポジション20発
・階段式依託台の使用も可とする。
・車椅子での射撃も可とする。
・視覚障害者は音による照準を使用できる。
8. 競技規則 ライフル射撃競技規則 最新版による。
9. 使用機材 BP(デジタル)公認標的装置 (HPでご確認ください。)
(個人または主催者準備のデジタル・ピストルを使用することができる)
10. 参加資格 日ラ会員、また各会場の定員に余裕がある場合は一般市民の参加も可能とする。
(事前申込みにより受付を行い、定員になり次第締め切ります。会場ごとの定員は会場に直接問い合わせください)
11. 表彰 表彰は、実施しません。
成績は、各会場の集計後、協会WEBサイトにて公開します。

12. 参加料

I S S F種目 ※会場ごとに設定することができる。下記金額は目安。		
日本ライフル射撃協会会員	各種目	2,000円
一般参加者	各種目	3,000円
普及競技種目（全国競技会種目）		
参加料については、会場ごとに設定することができる。		

※なお、I S S F 競技の参加料の中には、全国競技会の参加料が含まれる。

13. 参加申込

(1)各会場に直接申し込んでください。

(2)参加申込み先

各会場申込先まで ※各会場の要項を参照して下さい

14. 公式練習

会場ごとに、実施の有無を含めてWEBサイトで公表します。

15. 大会責任者

大会委員長 藤井 優

16. その他